

第1回やまぶき杯 企画書

1R: 4択200問ペーパークイズ

ALL→7+70

- 200問の4択クイズと2問の近似値クイズによるペーパークイズ。制限時間は45分
- 順位は「4択クイズの正解数が多い順→近似値クイズ1の解答が近い順→近似値クイズ2の解答が近い順→抽選」により決定する
- 1位から7位までの7名はシードとなり3Rに進出
- 8位から77位までの70名は2Rに進出

≫ 舞台用問題について

- 今大会では「舞台用問題」として、1からNまでの番号をつけたN問を用意する
- 2R以降では、早押し・ボード等の形式を問わず、この問題群から順番に出題する
- どの問題から出題するかは、ペーパークイズ1位の参加者が番号で指定する

2R: アドバンテージ付き3〇2×クイズ

(14→5)×5

- 3問正解で勝抜け、2問誤答で失格となる早押しクイズ
- 10席の解答席が用意され、クイズ開始時は各組14人のうちペーパー順位の高い10人が解答席につく。下位4人は待機となる
- 勝抜けまたは失格により解答席に空きが出た場合、待機者はペーパー順位の高い順に解答席につく
- 各組ペーパー上位3名は、アドバンテージとして最初から1問正解しているものとして扱う
- 失格者の発生により、残っている解答者の数と残り勝抜け枠が等しくなった場合、その時点で残っている解答者は全て勝抜けとする^{*1}
- 問題は35問限定。限定問題終了時は、失格している者を除き、「正解数の多い順→誤答数の少ない順→ペーパー順位の高い順」により勝抜け者を決定する
- ペーパークイズの順位による組分けは以下の通り

第1組	8位, 17位, 18位	27位, 28位, 37位, 38位, 47位, 48位, 57位	58位, 67位, 68位, 77位
第2組	9位, 16位, 19位	26位, 29位, 36位, 39位, 46位, 49位, 56位	59位, 66位, 69位, 76位
第3組	10位, 15位, 20位	25位, 30位, 35位, 40位, 45位, 50位, 55位	60位, 65位, 70位, 75位
第4組	11位, 14位, 21位	24位, 31位, 34位, 41位, 44位, 51位, 54位	61位, 64位, 71位, 74位
第5組	12位, 13位, 22位	23位, 32位, 33位, 42位, 43位, 52位, 53位	62位, 63位, 72位, 73位

^{*1} いわゆる「トビ残り」。この規定は、以下全てのラウンドにおいて適用する。

- 2Rシードの7名と2R勝抜け者25名の計32名を8名ずつ4組にわけ、異なるルールによりクイズを行うコース別クイズ
- 各組4名が勝抜け
- 参加コースの希望は2R終了までに申請し、ペーパークイズ上位から優先して参加コースが割り振られる

≫Aコース: 7○3×クイズ

- 7問正解で勝抜け、3問誤答で失格の早押しクイズ
- 問題は50問限定。限定問題終了時は、失格している者を除き、「正解数の多い順→誤答数の少ない順→ペーパー順位の高い順」により勝抜け者を決定する

≫Bコース: 7○1×クイズ

- 7問正解で勝抜け、1問誤答で失格の早押しクイズ
- 問題は50問限定。限定問題終了時は、失格している者を除き、「正解数の多い順→ペーパー順位の高い順」により勝抜け者を決定する

≫Cコース: 早押しボードクイズ

- 12ポイント到達で勝抜けとなる早押しボードクイズ
- 正解・誤答によるポイントの変動は以下のとおり
 - ボタンが点いて正解: +3
 - ボタンが点いて誤答: -3、かつ次の1問休み（ボード解答も不可）
 - ボタンが点かずに正解: +1
 - ボタンが点かずに誤答: ±0
 - 単独正解は、ボタンの状態によらずさらに+1のボーナス
- 複数の解答者が同時に12ポイントに到達した場合、ポイントの多い順に勝抜け者を決定する
- 勝抜け人数枠のボーダーライン上でポイントが同じ場合は、ペーパー順位の高い順に勝抜け者を決定する
- 問題は15問限定。限定問題終了時は、「ポイントの多い順→ペーパー順位の高い順」により勝抜け者を決定する

≫Dコース: 早押しボードクイズ2

- Cコース「早押しボードクイズ」に、以下の変更を加えたルールとする
 - ボタンが点かずに正解した場合は+2
 - 勝ち抜けポイントは18ポイント

準々決勝: 60問早押しクイズ

(8→4)×2

- 準々決勝進出者16名を8名ずつ2組に分け、組ごとにクイズを行う
 - 準々決勝進出者をペーパー順位で並べ、奇数番目を第1組、偶数番目を第2組とする
 - 各組4名が勝抜け
- 60問限定の早押しクイズ
- 正解すると+1ポイント
- 誤答すると-1ポイント、かつ誤答3回で解答権剥奪（ポイントは残る）
- 60問終了時点で「ポイントの多い順→誤答数の少ない順→ペーパー順位の高い順」で上位4名が勝抜けとなる

準決勝: スーパーショックランド

8→4

- サバイバル方式のボードクイズ
- 4名が勝抜け（4名の失格者が決まるまでクイズを行う）
- 以下を1セットとして繰り返す
 - 全員に対するボードクイズを出題する
 - 正解数最下位が2名以下（残り失格枠が1の場合は1名）となった場合、該当者は失格となる
 - 失格者が出た場合、生存者全員の正解数を0にリセットし、新しいセットを開始する
 - 1セットで12問出題しても失格者が決まらない場合、その時点で正解数が最も少ない者を対象とした早押しプレーオフ^{*2}を行い、2名（残り失格枠が1の場合は1名）の失格者を決定する
- このラウンドのボードクイズでは、正誤判定結果は通知しない。また、セット途中での正解数表示も行わない

決勝: ななつぼし獲得クイズ

4→1

- 複数セット制の早押しクイズ
- 以下を1セットとして繰り返す
 - 全員で3〇2×の早押しクイズを行い、セット勝者1名を決定する
 - 3問正解でセット勝利、2問誤答でセット失格となる
 - 3人が失格した場合、残りの1名がセット勝者となる
 - セット勝者は3問の追加問題に挑戦する
 - 追加問題はセット勝者のみに対して出題され、問題文が読み切られてから5カウント以内に口頭で解答する
 - 追加問題の正解1つにつき★を1つ獲得する
 - 追加問題の終了後、全員の正解数・誤答数をリセットし、新しいセットを開始する

^{*2} 1問正解で生存、1問誤答で敗退の早押しクイズ。

- これを繰り返し、最初に★を7つ獲得した人が、やまぶき杯優勝者となる
- 2位以下は、優勝者が決定した時点での★が多い順に順位を定める。★の数と同じ場合はペーパークイズの順位が高い方を上位とする
- 本戦用問題を使い切った場合は、その時点で★が最も多い人を優勝とする。該当者が複数人いる場合は、その中でペーパークイズの順位が最も高い人を優勝とする

コース別クイズの参加希望について

- 3Rコース別クイズの希望コースは、やまぶき杯エントリーサイトから変更可能です（エントリー時に入力したパスワードが必要です）
- 変更は、2R終了をもって締め切ります



やまぶき杯エントリーサイト

<https://yamabukientry.shakenbu.org>

ルール

早押しクイズの流れ

- クイズを読み上げて出題します。分かった所でボタンを押してください。
- 誰かのボタンが押された時点で問題の読みがストップします。
- 解答権を得るのは、最も早くボタンを押し、ランプが点いた1名のみです。名前のコールは行いませんので、ボタンが点いたのを確認したら解答を発声してください。
- ボタンを押してから3カウント以内に解答がない場合、「タイムアップ」となります。タイムアップは誤答として扱います。
- 問題を読み切った後、誰もボタンを押さずに3カウントが経過すると「スルー」となります。この場合、誰も問題に答えなかったものとしてその問題は終了します。
- タイムアップのブザーと解答が同時と判断される場合、タイムアップとして扱います。ボタンを押したことがスルーのブザーによりキャンセルされた場合、スルーとして扱います。
- 「正解・誤答の判定が下される」「タイムアップ」「スルー」のいずれかで、その問題は終了となります。いわゆる「ダブルチャンス」「エンドレスチャンス」などはありません。

早押しボードクイズの流れ

- クイズを読み上げて出題します。分かった所でボタンを押してください。
- 誰かのボタンが押された時点で問題の読みがストップします。この段階で、全員解答をボードに記入してください。
- 解答を書く制限時間は、ボタンが押され、カウントを開始してから15カウントです。ただし、複数解答を求める問題などでは、正誤判定者の判断で制限時間を長くする場合があります。
- 問題を読み切って3カウント以内に誰もボタンを押さないと、「スルーボード」となります。この場合、全員解答を記入してください。この場合のポイント計算は、全員を「ボタンが点かなかった」として行います。
- ボタンが押された後の問題の読み直しは行いません。
- 制限時間終了後、司会の指示に従ってボードを掲示してください。

ボードクイズの流れ

- クイズを読み上げて出題します。ボタンは使用せず、問題は最後まで読めます。
- 解答を書く制限時間は、問題が読み切られ、カウントを開始してから15カウントです。ただし、複数解答を求める問題などでは、正誤判定者の判断でカウント開始を遅らせる場合があります。
- 問題は1回のみ読まれ、読み直しは行いません。
- 制限時間終了後、司会の指示に従ってボードを掲示してください。

正誤判定について

- 日本人、中国人、韓国人など極東アジアの人名を答える問題では、原則としてフルネームを要求します。ただし、スポーツ選手の登録名など、フルネーム以外の名前が一般的になっている場合は、その名前でも構いません。（例：白鵬、イチローなど）
- 極東アジア以外の人名は、ファミリーネームだけで正解とします。ただし、間違ったフルネームで答えた場合は誤答とします。
- 王や皇帝の名前などで、「○世」などをつけて呼ばれることが一般的な場合は、「○世」の部分までを要求します。
- 早押しクイズにおいて、解答が正解に近いがそのままでは正解にできない場合、正誤判定者は「もう一度」とコールします。この場合、解答者は元の解答と異なる解答を答えてください。同じ解答を答えた場合は誤答となります。
- 解答が聞こえなかった場合は、正誤判定者は「聞こえませんでした」とコールします。この場合、解答者は元の解答と同じ解答をはっきりと答えてください。異なる解答をしたと判断された場合には誤答となります。
- 複数のものを答える問題は、問題文の冒頭で「全て答えなさい」「2つ答えなさい」などのように明示します。このような指示がない場合は、全て1つのものを答える問題です。
- 複数のものを答える問題では、問題文に特別の指示がない限り、解答をどのような順序で答えても正解になります。
- 1つのものを答える問題では、問われているものを1つだけ答えた場合か、問題文で問われている順序どおりに答えた場合に正解になります。
- 問題文に明示的あるいは暗黙的な指示がある場合は、本基準より問題文の指示が優先されます。

ボード解答に関するルール

※以下は、ボードに書いて解答する形式の際に適用します。

- ボードに書かれた内容のみで正誤判定を行います。発声内容は正誤判定の対象となりません。（発声はしてもしなくても構いません。ただし、正誤判定者が混乱するため、明らかに記述内容と異なる発声をすることはご遠慮ください）
- 「漢字○文字で何というでしょう？」「英語で何というでしょう？」などといった問題でも、漢字や英語（アルファベット）等で書く必要はありません。かなで正しい読みが書かれていれば正解となります。
- 漢字の間違い、スペルの間違いなどは誤答として扱います。
- ボードに書かれた文字を正誤判定者が読み取れない場合、誤答として扱われる場合があります。
- ボード解答では、早押しクイズにおける「もう一度」制度はありません。出した解答に対して、必ず正解・誤答のいずれかの判定がなされます。